安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	28-8410-4	**版**	9.02
発行日	2025/10/23	**前発行日**	2025/05/29

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

グラフィック保護

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コマーシャルブランディング＆トランスポーテーションプロダクトプラットフォーム技術部
電話番号	0570-012-123

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	100

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
多量の水で洗浄する。症状が続く場合には、医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
無理に吐かせない。口をゆすぐ。気分が悪い場合は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
塩化水素	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ)

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
適用しない。

環境に対する注意事項
適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
切断又は研磨作業中に発生する粉じんの吸入を避ける。　通常の使用条件のもとでは、本製品からの有害化学物質の放出は予想されない。

保管
適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
遊離シリカ含有率 3%未満の粉塵、吸入性粉塵	なし	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	ACGIH	TWA （吸入性分画） ：1mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH ： American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA ： American Industrial Hygiene Association
ISHL ： 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) ： 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs ： 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ)

設備対策
適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具
特別な皮膚保護は必要ない。

呼吸用保護具

特別な呼吸器保護は必要でない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状態:	*フィルム*
色	無色
臭い	無臭
臭いの閾値	*適用しない*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*
引火点	*適用しない*
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*
燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*適用しない*
相対蒸気密度	*適用しない*
密度	*データはない。*
比重	*データはない。*
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*適用しない*
n-オクタノール/水分配係数	*適用しない*
発火点	*データはない。*
分解温度	*適用しない*
動粘度	*適用しない*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発性成分割合に関するコメント	無視できるレベル。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	*データはない。*

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ）

（JIS－GHSの要求項目ではない）	

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
知見はない。

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
人体への健康影響は考えられない。

追加情報
本製品を使用方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ）

名称	経路	値又は判定結果
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	特段の規定はない。	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22 月

誤えん有害性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ)

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリル系粘着剤付き塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム	なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に

塩化ビニル系樹脂オーバーラミネートフィルム （8428G, IJ4116N2, IJ4117N2, IJ4116N, IJ4117N, IJ4131, IJ4132N, IJ4132, IJ4136, IJ4137, 4156, 4157, IJ4178, 8518, 8519, 8520, SP4582, SP4855, SP4856, 3647, PF390, 8900シリーズ)

述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

適用しない。

主な法規制物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：製品名 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。